

2015 年天文教育普及研究会年会のお知らせ（第二報）

佐藤 祐介（年会実行委員長・北海道大学）

2015 年の年会（天文教育研究会）の第二報をお届けします。申し込み案内・フォームを末尾につけました。みなさまの参加申込をお待ちしています。

8 月の北海道は観光シーズンです。ホテルや飛行機、フェリー、寝台特急など、大変混雑します。旅の準備は今すぐ始めることをお勧めします！

なお、実行委員会ではホテルのあっせんはしかねます。あしからずご了承ください。

* * * * *

第 29 回天文教育研究会・2015 年天文教育普及研究会年会のご案内

日 時：2015 年 8 月 19 日（水）13:00 ～ 8 月 21 日（金）15:00（予定）

会 場：北海道大学 百年記念会館（札幌市北区北 8 条西 5 丁目）

<http://www.hokudai.ac.jp/introduction/campus/100th/>

JR や地下鉄の駅から徒歩圏内です。

- ・JR 札幌駅／地下鉄南北線・東豊線「さっぽろ駅」徒歩 10 分
- ・地下鉄南北線「北 12 条駅」徒歩 10 分

主 催：天文教育普及研究会

共 催：国立天文台（研究集会助成を受けています）

後 援（予定）：北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会、日本天文学会、日本惑星科学会、全国科学博物館協議会、日本プラネタリウム協議会、日本公開天文台協会

対 象：学校教育機関、社会教育機関、一般の天文普及活動などで天文の教育・普及に携わっている人、あるいは関心のある人、および天文教育普及研究会会員

趣 旨：天文教育の振興および天文教育普及活動の推進

【メインテーマ】地域と育む新しい天文コミュニティの形 ～学び・文化・人～

今年の天文教育研究会では、メインテーマとして「地域における天文教育普及活動の活性化」をとりあげます。

「宇宙」や「天文」といったことばは、広く人々の心を捉えロマンの世界へ誘います。そこに「天文教育普及活動」の一つの大きな意義があるといえるのですが、一方で、相次ぐ社会教育施設の閉鎖など、大変厳しい現実がたちはだかっています。このような状況下で、天文や宇宙の学習、教育、普及はどのような立ち位置で、何を手がかりに進んでいけばいいのでしょうか。

一つの方向性は、従来の枠を踏み出すこと、すなわち地域と人と連携し新たな学びの場を創出すること、その学びを生涯学習の形として定着させ、文化（といえるもの）を形成すること、ひいては一般市民の人間形成にささやかなりとも貢献することにあります。

こうした背景に鑑み「地域と育む新しい天文コミュニティの形」を探る目的で研究会を開催します。北海道を地盤とした活動をケーススタディーに、全国各地で行われている地域・公共天文台・地元大学の間の連携や地域コミュニティの従来の枠を超えた活動を紹介し、また参加者に発表していただき、全国規模で活動をさらに活性化していく道を探ります。あわせて、全国の有志との相互交流を図ります。

さらに、社会教育施設、学校教育（学習指導要領）、国際光年といった話題をとりあげ、さまざまな場面における天文教育普及のあり方について議論します。

本研究会は天文教育普及研究会主催の会合ですが、会員でなくても参加・発表ができます。みなさまのふるっての参加をお待ちしています。

〔研究会サブテーマ〕

1. 天文学習を通じた地域づくり・生業づくり（招待講演：西原征治、上野真司）

日常生活の延長としての天文活動を展開している「星空散歩ねむレンジャー」の西原氏に「肩の凝らない」活動について講演していただきます。また北海道東部の津別町津別峠で、星空ツアーを観光アクティビティとして提供する NPO 法人「森のこだま」の上野氏から、天文分野を観光商品として活用する事例を紹介していただきます。全国各地の地元に着したユニークな天文教育普及活動に関する一般講演を、広く募集します。

2. 大きな転回点を迎える社会教育施設（招待講演：福澄孝博）

昨今、天文系の社会教育施設の廃止や休館などの事例が見受けられます。各地で施設を存続するには、どのような方策が必要でしょうか、成功している施設にはどんな特色があるのでしょうか、真に市民のための社会教育とは何なのでしょう、天文教育普及研究会の生涯学習施設支援 WG での議論を基に、全体で討論を行います。また関連した一般講演を募集します。

3. 次期学習指導要領と学校教育の今後（招待講演：鈴木文二、濱根寿彦）

新学習指導要領が始まったばかりですが、すでに次期学習指導要領の改訂に向けた動きが始まっています。平成 28 年度には全面改訂、平成 32 年度には全面実施をするという方針のようです。天文教育普及研究会は中教審に提言しました。その提言を基に、学校教育をとりまく天文教育の現状と将来的な課題を討議します。併せて「何のための天文教育か」という根源的なテーマにも取り組みます。関連した一般講演を募集します。

4. 大学・研究者の社会貢献（招待講演：佐藤祐介、内藤博之）

平成 18 年改正教育基本法で、新たに大学の役割として社会貢献が明記されました。また科学コミュニケーションの視点からも、研究者が成果を社会に対してアウトリーチすることが必要とされ、現在の研究者には地域住民の主体的な学習を支援する役割が求められています。天文教育普及ネットワークが社会に対して何ができるのか、研究者が地域の天文学習を支援する意義について議論します。関連した一般講演を募集します。

5. IYL 特別セッション（招待講演：Lina Canas）

2015 年は国際光年（IYL）にあたります。国立天文台の IAU（国際天文学連合）国際普及室（OAO）に新しく赴任された Lina Canas さんに話を伺います。また IYL にちなんだ実践活動報告など、一般講演を募集します。

〔プログラム（予定）〕

第1日：8月19日（水）

- 12:30 開場・受付
- 13:00-13:15 開会行事
- 13:15-15:50 サブテーマ1「天文学習を通じた地域づくり・生業づくり」
- 16:00-16:45 一般発表
- 16:45-18:00 グループディスカッション1
(18:15-19:45 運営委員会)

第2日：8月20日（木）

- 09:00 開場
- 09:10-10:30 サブテーマ2「大きな転回点を迎える社会教育施設」
- 10:40-12:30 サブテーマ3「次期学習指導要領と学校教育の今後」
- 12:30-13:30 昼休み（支部の集まり）
- 13:30-15:20 サブテーマ4「大学・研究者の社会貢献」
- 15:30-16:30 IYL 特別セッション
- 16:45-18:15 総会
- 18:30 情報交換会（懇親会、生協会館にて）

第3日：8月21日（金）

- 09:00 開場
 - 09:10-10:50 一般発表
 - 11:00-12:30 グループディスカッション2
 - 12:30-13:30 昼休み
 - 13:30-14:30 全体ふりかえり・まとめの議論
 - 14:30-15:00 閉会行事
- ※発表申し込みの状況によって変更する可能性があります。

〔参加費（予定）〕

- 一般 会員：3,000 円
- 学生 会員：1,000 円
- 非 会 員：4,000 円（1,000 円を集録代にあてます）
- 非会員学生：2,000 円（1,000 円を集録代にあてます）

〔情報交換会（懇親会）〕

- 日時：8月20日（木） 18:30-20:30（予定）
- 会場：北海道大学 生協会館 1F
- 参加費（予定）：4,000 円（一般）、2,000 円（学生）

〔問い合わせ先〕

ご不明な点は、件名を「問い合わせ」とし、以下のアドレスにメールをお送りください。

nenkai2015 [at] tenkyo.net （ [at] は@で置き換えてください。）

- ・実行委員長：佐藤祐介（北海道大）
- ・実行委員（50音順）：岡崎敦男（北海学園大）、篠原秀雄（埼玉県立草加東高）、関口朋彦（北海道教育大）、高島規子（リブラ）、垂石寛史（札幌市青少年科学館）、内藤博之（なよろ市立天文台）、西原征治（ねむレンジャー）、福澄孝博（北海道大）、嶺重 慎（京大）、山内銘宮子（Astro Ninja Projects）

〔申し込み方法〕

- ・事務作業軽減のため、なるべく申し込みは以下の Web フォームからお願いします。

<https://goo.gl/forms/GGIpAFnIw1>

上記にアクセスし、必要事項を入力の上、送信してください。

- ・電子メールの場合は、次ページの申込書にご記入の上、件名を「年会申し込み」として
nenkai2015 [at] tenkyo.net （ [at] は@で置き換えてください。）
にお送りください。tenkyo メールングリストに流す案内メールを使用させていただくと便利ですが、宛先にご注意ください。なお記入の際は【 】の不要な部分を消去してください。

- ・郵便／ファックスの場合は次ページの申込書にご記入の上、以下にお送りください。

〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1-40

北海学園大学工学部 岡崎敦男 宛

Fax： 011-824-7729（事務室）

〔申し込み締め切り〕

- ・7月15日（水）：参加申込（発表あり）、情報交換会（懇親会）
- ・8月10日（月）：参加申込（参加のみ）

〔若手への旅費援助〕

国立天文台の研究集会助成により、わずかですが、若手（学生）への旅費援助が可能です。研究会において口頭発表をすることと、アルバイト（会場係りなど）をすることが条件です。希望者は申し込みフォームに記載してください。

なお、申込み多数の場合にはご希望に添えないこともございます。その場合はご容赦ください。

第 29 回天文教育研究会 参加申込書

氏 名： 【一般・学生】 【会員・非会員】

ふりがな：

所 属：

1. 連絡先【自宅・所属先】

住 所：〒

：

電 話：

FAX ：

メール：

今後の連絡方法【郵便・メール】

2. 参加日程

・参加予定日【8月19日（水）・8月20日（木）・8月21日（金）】

・情報交換会（8/20 夜）【参加・不参加】

※運営委員会（8/19）の夕食については別に案内します。

3. 研究発表（要旨は100字以内でお願いします）

・口頭発表【あり・なし】

（口頭発表は一人1件まででお願いします。口頭発表希望者が多数の場合、ポスター発表への変更をお願いする場合があります。）

題目：

該当するサブテーマ（あれば）【1・2・3・4・IYL】

要旨：

プロジェクター【パソコン持参・USBメモリなどを持参・使用しない】

その他使用機材：（ ）

・ポスター発表【あり・なし】

題目：

要旨：

※ポスター区画は、一人あたり90cm(横)×180cm(縦)程度を予定しています。

4. 派遣依頼（依頼状は実行委員長名で作成します）【必要・不要】

必要な場合：（ 月 日までに ）宛に）

5. 旅費援助・会場アルバイトの希望【あり・なし】

（原則として、他旅費財源が無く、口頭発表を行う若手（大学生以下）が対象です。）

6. 自家用車での来場希望【あり・なし】

（駐車スペースの都合でご希望に添えない場合もございます。

できるだけ公共交通機関でお越しください。）

7. その他、ご意見、ご要望があれば、ご記入ください。